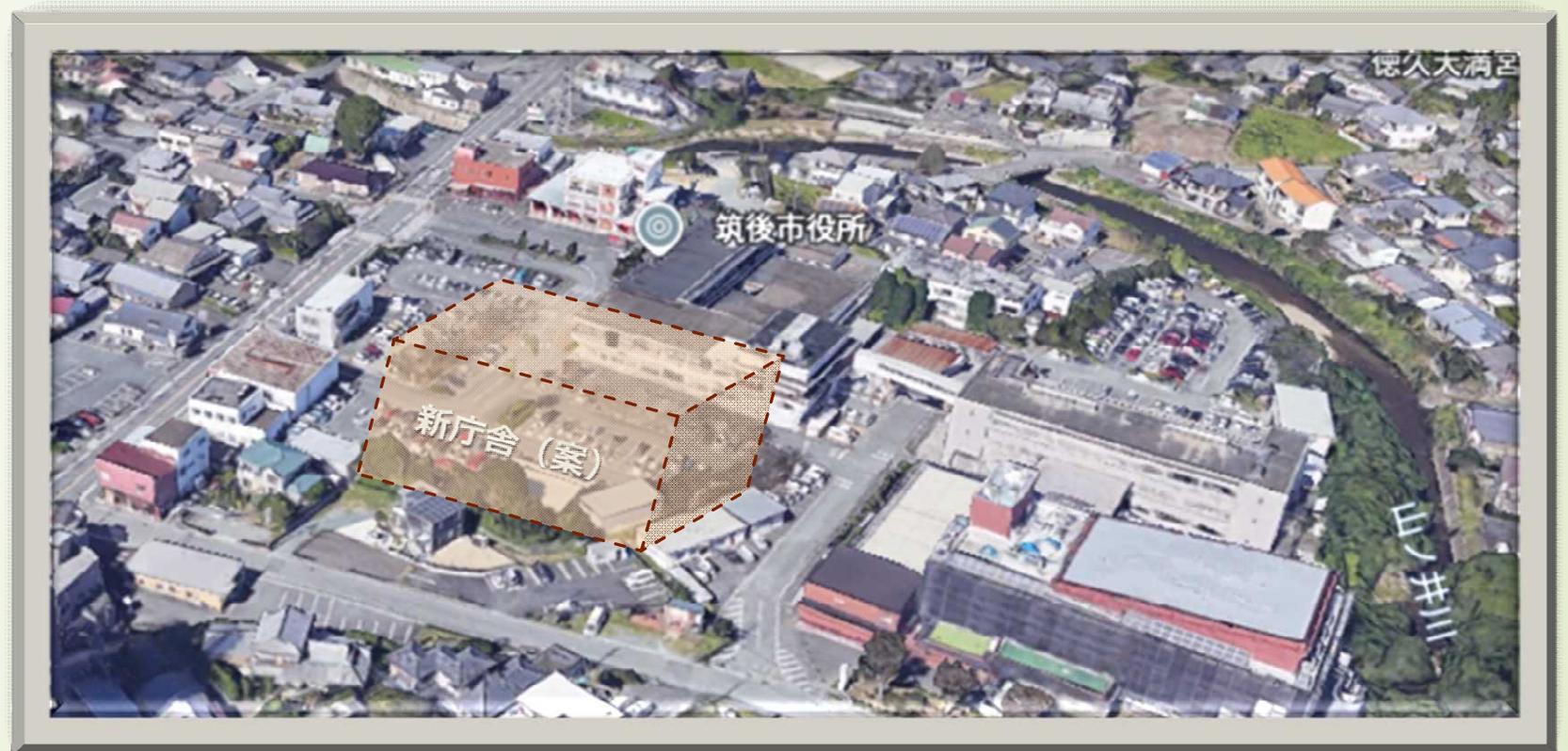


筑後市新庁舎建設

新庁舎建設に向けた動き



はじめに

➤ 筑後市役所の本庁舎は、昭和31年に供用開始してから現在まで、各時代の変化に応じた様々な行政サービスを市民に提供してまいりました。そんな本庁舎は、今年で築後68年と大変古い建物となり、老朽化による機能低下が顕著に表れている状況となっています。



古くなった本庁舎機能の問題点①

➡ 耐震性の不備

[耐震性の不備の詳細はこちら](#)

➡ 維持管理費の増加

[維持管理費の増加の詳細はこちら](#)

➡ 雨漏り

[雨漏りの詳細はこちら](#)



古くなった本庁舎機能の問題点②

➡ バリアフリーへの対応不足

[バリアフリーへの対応不足の詳細はこちら](#)

➡ 庁舎の分散による窓口サービスや業務効率の低下

[庁舎の分散による窓口サービスや業務効率の低下の詳細はこちら](#)



古くなった本庁舎機能の**問題解決**のための**検討開始**

(平成26年度～平成29年度7月までの動き)

- **平成26年度**に、副市長をトップとした内部組織の「筑後市庁舎のあり方検討委員会」により、古くなった本庁舎機能の問題解決のため協議・検討を開始しました。



- **平成28年度**に、「筑後市庁舎のあり方基本構想」の策定に向けて業務委託を行いました。また、有識者をはじめとする多方面の委員からご意見を頂くため「筑後市庁舎のあり方検討推進会議」を設置し、協議・検討を開始しました。

- **平成28年度**に、市議会で「庁舎建設特別委員会」が発足、協議を開始しました。



- **平成29年7月**に「筑後市庁舎のあり方基本構想」を策定しました。

庁舎建設事業 **凍結** (平成29年度末～平成31年度までの動き)

- ▶ 平成29年7月に「筑後市庁舎のあり方基本構想」を策定しましたので、次の段階の「筑後市庁舎建設基本計画」を平成30年度に策定する予定でしたが、庁舎建設特別委員会との協議・検討の末、財政面の理由から事業を**凍結 (平成29年度末)** することとなりました。

凍結による取り組み

凍結

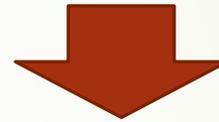
- ▶ **平成31年度**より、庁舎建設事業の財政負担を軽減するため庁舎建設基金として積み立てを開始しました。(積立目標額25億円)
- ▶ **平成30年度～平成31年度**にかけて、本庁舎を耐震補強しました。

これは、庁舎建設基金の積み立て額に一定の用途が立つまでの最低限度の耐震補強であるため、震度6～7の地震が発生した場合、倒壊又は崩壊はしませんが、本庁舎自体は甚大なダメージを負うため庁舎内での業務は不可能となります。

庁舎建設事業 検討再開（令和5年度の動き）

- ▶ **令和5年4月**に、庁舎建設事業を担う担当部署を設置し、**検討を再開**しました。

再開した理由としては、庁舎建設基金が令和4年度末で28億円となり、財源に一定の目途がたったためです。



- ▶ **令和5年9月**議会にて、発注者支援業務委託（CM）と、凍結とともに見送った庁舎建設基本計画策定業務委託等の補正予算を承認いただきました。

※発注者支援業務委託（CM）とは、コンストラクション・マネジメントの略で、庁舎建設に関する経験と専門的知識であらゆる面から発注者を支援してもらえるものです。



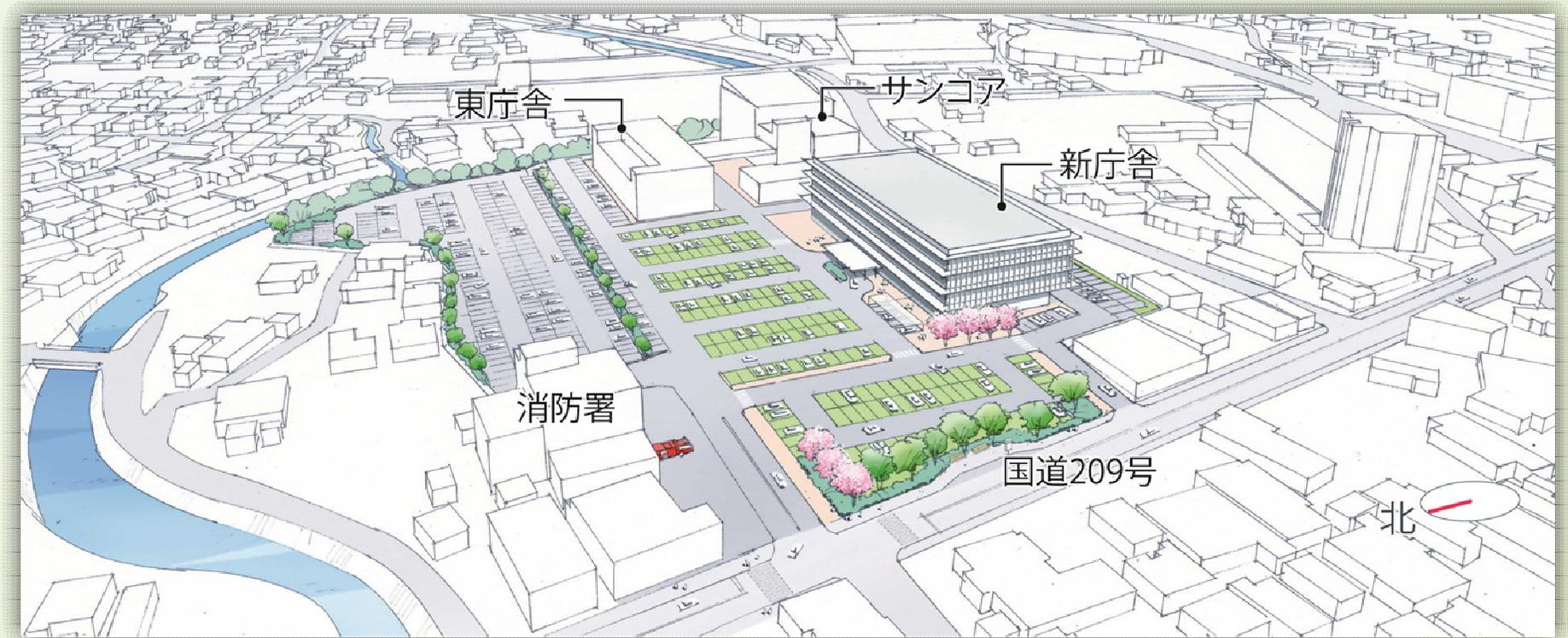
- ▶ **令和6年3月**に筑後市庁舎建設基本計画の業務を委託契約し、策定に向けて**協議・検討を開始**しました。

建設地の選定 (令和6年度の動き) ①

- ▶ **令和6年6月**全員協議会にて、建設地を現在地とする候補地Aと建設地を窓ヶ原公園とする候補地Bを比較検討した資料を提示し、候補地Aの方が適している旨を説明しました。

[比較検討した資料はこちら](#)

▼現在地に新庁舎を建設した場合のイメージ図



建設地の選定 (令和6年度の動き) ②

- 令和6年7月29日～8月12日 (2週間) に市民アンケートを実施しました。

質問は全部で10問あり、質問6では、建設地について意見を伺いました。その結果、「現庁舎敷地の方が適している」という市の考えを理解する方が85.7%となり、市の考え方を理解しない方 (6.2%) を大きく上回りました。

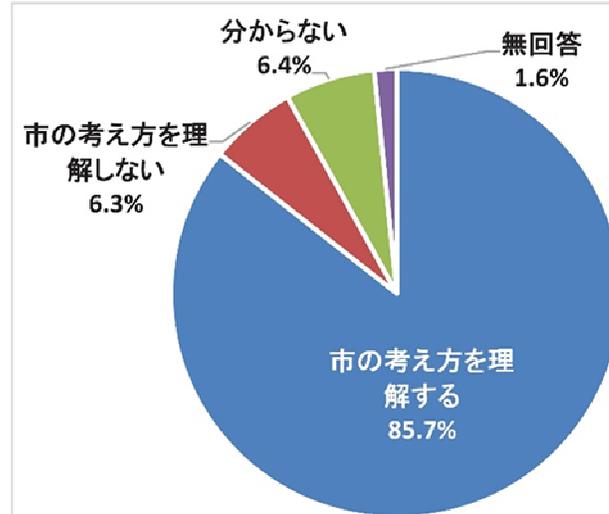
◎対象者数1578人、回答数621人、回収率39.4%

[市民アンケートの詳細はこちら](#)

質問6.新庁舎の建設地について

(市では「A案 現庁舎敷地での建替え案」の方が適していると判断しています。ご意見を教えてください。)

	回答数	比率
市の考え方を理解する	532	85.7%
市の考え方を理解しない	39	6.3%
分からない	40	6.4%
無回答	10	1.6%
合計	621	100.0%



A 現庁舎敷地での建替え案

1 課題への対応

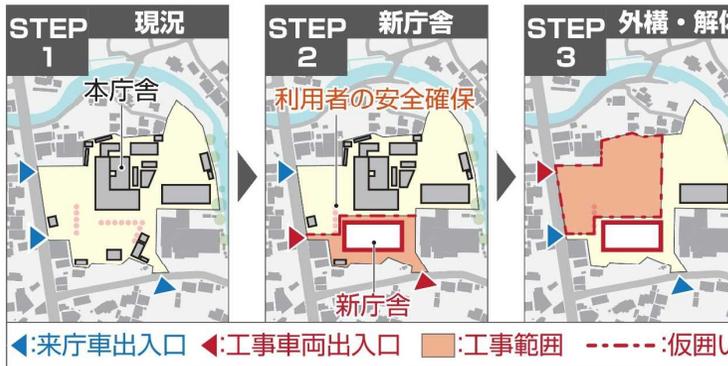
- 交通インフラの改善、敷地内の高低差整備、山ノ井川の氾濫対策、適切な工事計画を検討し、安全に配慮した計画とします。

候補地 A の課題	対応策
1 国道 209 号線の渋滞	・ バスが乗入れ可能な車寄せの計画 ・ <u>バスベイ</u> の検討
2 敷地内の高低差	・ 従来の高低差を活かし、新庁舎周囲の地面の高さを周辺の高さより高く設定
3 山ノ井川の氾濫	・ <u>新庁舎の地下ピットに雨水貯留槽</u> の設置を検討
4 工事ローリング計画	・ 市民、職員の安全を確保した工事車両の動線を検討

候補地 A の課題と対応策

2 安心・安全な工事ローリング計画

- 居ながら工事のため、来庁者や職員の安全に特に配慮します。
- 3 箇所の敷地出入口を活用し、工事期に応じた大型車両の動線を確保します。



来庁者と工事車両の交錯がない工事ローリング計画

5 適切な工程を管理する事業工程案

R6 年度			R7 年度			R8 年度			R9 年度			R10 年度			R11 年度			R12 年度			R13 年度		
6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3
基本計画策定 (12ヶ月)			基本設計 (12ヶ月)			実施設計 (12ヶ月)			建設工事① (24ヶ月)=(20ヶ月)+(4ヶ月)			新庁舎 外構①			供用開始 R11.5~								
						確認申請			施工者選定			引越し(1ヶ月)			解体工事外構その他 (6ヶ月) (8ヶ月)			事業完了					

遅延の無い事業工程の例

※今後、関係機関との協議調整や詳細な調査により変更になる可能性があります。

3 敷地特性に応じた配置計画

- 来庁車用駐車場は、消防署と連携した防災訓練に活用できる広場への転換を想定します。
- 市民広場はマルシェ等のイベントにも利用できる計画とします。
- 市民交流棟を新庁舎と統合し、新庁舎内に市民交流スペースや情報発信コーナーを設け、子ども達も気軽に訪れやすい環境を目指します。



周辺公共施設との連携に対応した配置計画

4 市民の交流拠点創出

- 公共施設が集約された敷地を生き、市民交流が促進されるプログラムを検討します。



—: 下線部はあり方基本構想から追記・変更した部分

DX化推進による今後の働き方

- DX化推進により、行政手続きは簡素化され、行政サービスは大きく変化します。そのことは、職員の働き方も変えていく必要があり、今後は、様々な機能に特化した執務スペースを配置することで、職員間の新たなコミュニケーションの方法を発掘し、事務の効率化を図っていきます。

執務席

自席を定めず課や係単位で座るエリアを決めてグループアドレスによりチーム力を向上させる。



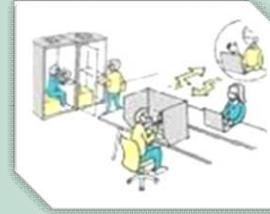
集中ブース

企画起案書やデータの編集業などにおいて電話や来庁客対応による中断がないよう集中環境を確保し成果の質をあげる。



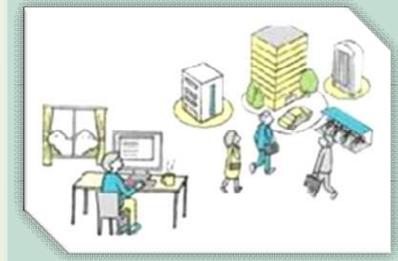
WEB会議室

増加するWEB会議や今後ビデオ通話機能を活用した住民サービス（相談等）にも活用する。



庁舎外

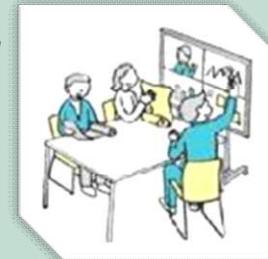
私有地の遊休スペースを活用したサテライトスペースの検討や在宅ワークの推進によりワークライフバランスを充実させる。



それぞれの事務作業に適した多様なスペースの活用で業務効率を図る。

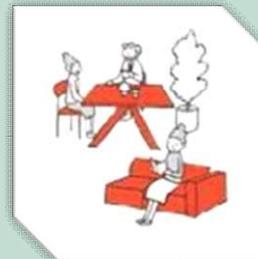
少人数の打合せ

ノートPCやモニターなどで情報共有しペーパーレスで効率的な打ち合わせを更に充実させる。



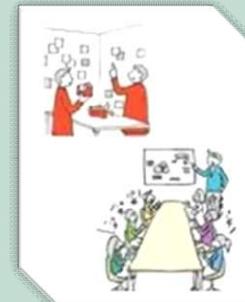
ビジネスラウンジ

部門を超えたコミュニケーションやリラックスモードでの業務や作業場と休憩などの場にも活用する。



会議室

ICTの活用などによりペーパーレス会議を実現する環境を構築し、より効率的な会議を実現させる。



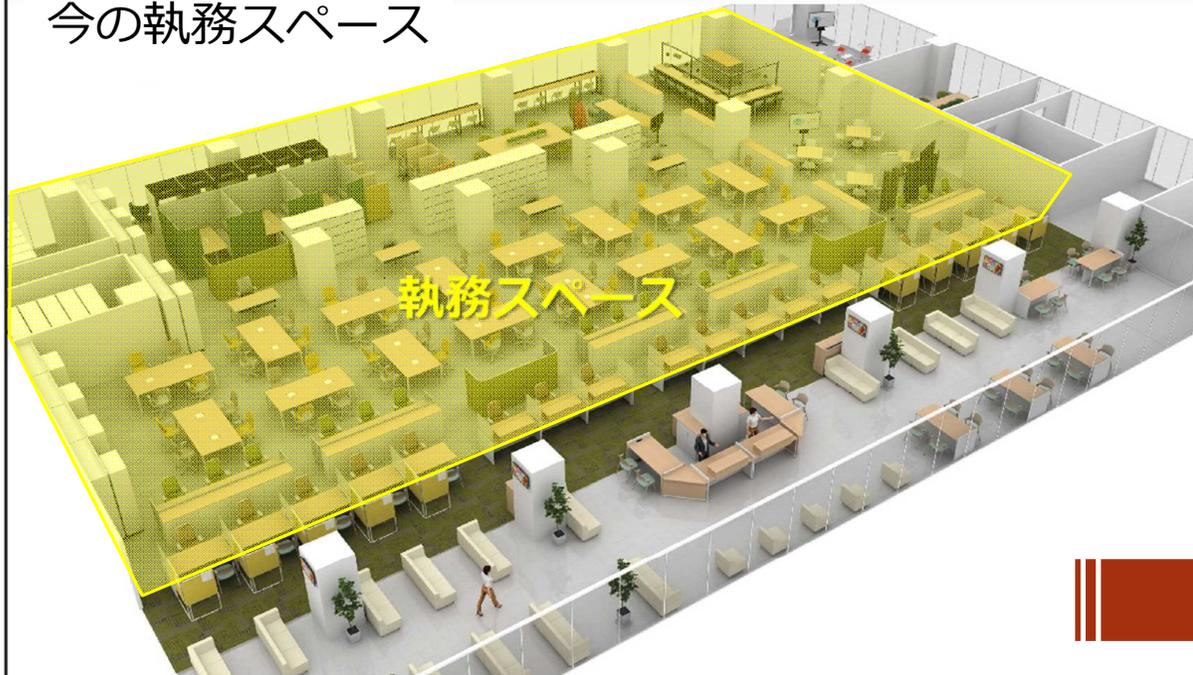
DX化推進により変化する庁舎内空間

DX化推進により、**執務スペース**は**コンパクト**になります。

一方、市民トラブルの相談等は、個人情報保護、プライバシー保護の観点から**個別スペース**の**充実**を図ります。

デジタル化による変化（窓口）

今の執務スペース



Copyright © KOKUYO Co., Ltd. All rights reserved.

デジタル化による変化（窓口）

未来の執務スペース



Copyright © KOKUYO Co., Ltd. All rights reserved.



今後とも、より良い庁舎を目指し、
新庁舎建設に向けて検討して参ります。

ご閲覧ありがとうございました。

